

【授業科目】 老年看護学演習Ⅱ (老年看護学の研究方法) Advanced Seminar of Gerontological Nursing II

| 担当教員 | | 開講年次 | 選択必修 | 単位数 | 時間数 | 授業形態 | オフィスアワー |
|--|---|-------|------|----------------------------|-----|------|----------|
| 三好 陽子 | | 1年次後期 | 選択 | 2 | 60 | 演習 | 巻末掲載 |
| 授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対するフィードバック 方法 | <p>老年看護学に関する修士論文作成に向けて、文献を批判的思考により検討する能力を身につける。 文献検討においては、研究テーマ、研究の問い、研究デザイン、研究方法等について分析し、老年看護学の研究方法の特徴について理解を深め、自己の研究課題を明確化する。 形式は演習によりレポートを作成し、学生のプレゼンテーションを取り入れる。 授業は、実務家教員（三好）が進める。 課題に対するフィードバック方法/プレゼンテーションについては授業内でコメントする。また、提出されたレポートについてはコメントをつけて返却する。</p> | | | | | | |
| 授業の 位置づけ | 本大学院のディプロマ・ポリシー①③④の達成に寄与している。 | | | | | | |
| 到達目標 (履修者が 到達すべき 目標) | <p>①老年看護学における研究の動向と課題について、自己の見解を述べることができる。 ②老年看護学に関する量的研究の特徴についてレポートを作成し、プレゼンテーションすることができる。 ③老年看護学に関する質的研究の特徴についてレポートを作成し、プレゼンテーションすることができる。 ④老年看護学に関する文献検討を行い、その結果をプレゼンテーションすることができる。 ⑤老年看護学における研究方法の特徴をふまえて、自己の研究課題を明確化することができる。</p> | | | | | | |
| 時間外学習 に必要な 内容・時間 | <p>紹介した文献や配布資料は、よく読んで、授業内容の理解や授業での意見交換に生かす（2時間）。 課題に関しては、自らも文献検索・検討を行いプレゼンテーションやレポート作成に生かす（2時間）。</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p> | | | | | | |
| 授業計画 | <p>1～2 老年看護学における研究の動向と課題</p> <p>3～5 老年看護に関する量的研究</p> <p>6～8 老年看護に関する質的研究</p> <p>9～11 老年看護に関する研究の特徴：プレゼンテーション</p> <p>12～14 老年看護に関する研究の文献検討（1）：量的研究の論文紹介と検討</p> <p>15～17 老年看護に関する研究の文献検討（2）：質的研究の論文紹介と検討</p> <p>18～20 老年看護に関する研究の文献検討（3）：プレゼンテーション</p> <p>21～29 老年看護学の研究方法：自己の研究課題に関する文献レビュー プレゼンテーション・ディスカッション 自己の研究課題の明確化</p> <p>30 まとめ</p> | | | | | | 全て 三好 |
| 評価方法 評価基準 | 課題に対するプレゼンテーション（40%）、レポート（60%）などによって総合的に評価する。 | | | | | | |
| 教科書 | なし | | 参考書等 | 配付資料 参考文献についてはその都度提示する。 | | | |